

③ 複合一貫輸送等に対応した国内海上輸送ネットワークの形成

指標：フェリー等国内貨物輸送コスト低減率
【H14比4%減(H19)】

環境への負荷が少なく、エネルギー効率の高い国内海上輸送の利用促進を図るため、陸上トラック輸送から海運へのモーダルシフト施策や海陸接続の円滑性を利用した物流効率化の推進が必要となっています。

このため、船舶の大型化・高速化などに対応し、十分な面積の駐車場等を有し、幹線道路網と円滑に接続する複合一貫輸送に対応した内貿ターミナルの整備を進めます。

また、離島などの住民のための安定した海上輸送サービスの提供を図ります。



▲遠距離輸送における幹線部分の輸送手段を大量輸送が可能な海運で行い、トラックとの複合輸送を実現します。港はモーダルシフトの拠点となります。（新門司港）



▲島で暮らす人々にとっての生命線である安定した離島航路サービスの提供を支えるのも港です。（宮之浦港）

④ 港湾及び航路における安全と海上輸送における信頼性の確保

海上輸送ネットワークは、船舶の大型化や高速化などと相まって、企業のロジスティクスネットワークの中で極めて重要な役割を果たしています。このため、船舶航行の安全性向上と安定的な海上輸送サービスの確保を図り、大型船舶航行上のボトルネック解消による物流コストの削減などに資するため国際幹線航路の整備を推進します。



▲我が国の経済活動や国民の生活を支える港湾に大型船舶が安全にかつ安定的に入出港できるように、国際幹線航路の整備を進めます。（東京湾口航路）



航路浚渫



第三海堡撤去



▲多くの船舶が行き交う航路をより安全な「海の道」にすべく、航路の増深や拡張などの浚渫工事が進められています。（関門航路）